

循環型社会の守り神

教育研修部

石鍋 恵子

ISHINABE KEIKO

良い縁に恵まれ、4月から、JW センターの修了試験実施業務に携わっている。

子どもの頃、テスト中に涼しい顔をして教壇の前に座っている先生を見ながら、「こっちはこんなに苦しんでいるのにいい気なもんだ。一度代わってみたい。」とずっと思っていたが、なんとその願いが叶ったのである。

ところがどっこい、想像していたよりも結構キツイ。今の私の方が当時の先生よりもずっと年上なのに座るどころか立ちっぱなしだし、相手は目下の生徒ではなく「お客様」だ。何と言っても「お客様は神様」なのである。

試験前のガイダンスでは私が説明するのだが、前の方の席に座っている神様が首を傾げたりすると、

本当にドキッとすると。そばまで駆けて行って、「私、今変なこと言いました？」とお訊きしたくなるほどだ。

だけど、心の中にボウと小さな灯がともる時もある。その灯は心の中をほっこりと温めてくれる。

試験会場に早めに来て、テキストとにらめっこしている神様。

私の説明を赤べこのように、うんうんと頷きながら聞いてくれる神様。

試験を終えて会場から退出する前に、ペコリとお辞儀してくれる神様、等々。

みんな、循環型社会を支えてくれている神様たちだ。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本誌では、環境省環境再生・資源循環局の室石局長、同局廃棄物規制課長の神谷課長より年頭所感を寄せいただきました。

JW センター「事業報告」では、電子manifestの情報利活用検討の一例で山口県内の廃プラの処理状況をご紹介します。課題はありますが、社会に還元する有用性、実現性の検討を進めてまいります。また、講習会のインターネット申込みでは令和4年度に向けスマホ・タブレットへの対応、写真登録の簡素化などシステム改善について掲載しています。これからも受講者ファーストの視点で運営してまいります。

また、最終回となります崎田様の「コラム」では海洋プラ対策が世界的に進むなか、日本の社会全体の意識改革のために伝

えること、発信することへの熱い思いが感じられました。北村様の「連載」では、司法試験における廃棄物処理法の出題状況について解説いただきました。毎回、難しいテーマを分かりやすく、また面白く読みやすい内容にいただきました。4回に亘り「コラム」をご執筆いただいた崎田様、8回に亘り「連載」をご執筆いただいた北村様に御礼を申し上げます。

最後になりましたが、本誌の発行に際し、ご執筆、ご協力を賜りました皆様方に心より御礼申し上げます。

本年も産業廃棄物の適正処理、循環型社会の形成に向けた情報を発信してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。(広報室)

■本誌に関する連絡先：総務部広報室 (e-mail : jigyo@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JW センター情報（季刊）VOL.21 NO.4 発行日：2022年1月17日発行 発行人：関 莊一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷：大日本法令印刷株式会社